

メキシコ金融政策（2022年8月）

次回会合での利上げ幅縮小の可能性を示唆

2022年8月12日

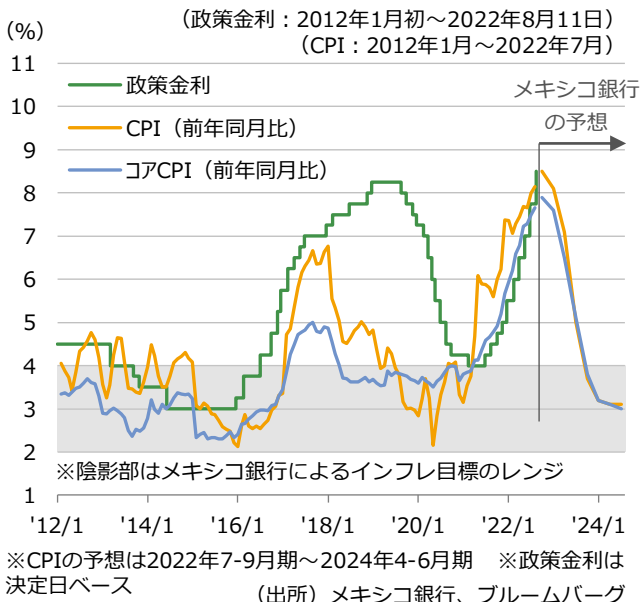
2会合連続0.75%ポイントの大幅利上げで、政策金利は8.50%に

メキシコ銀行（中央銀行）は8月11日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を7.75%から8.50%へ、0.75%ポイント引き上げることを全会一致で決定しました。利上げは昨年6月から10会合連続で、0.75%ポイントの利上げ幅は2会合連続になります。

メキシコの7月CPI（消費者物価指数）は、総合が前年同月比+8.15%、コアが+7.65%と、6月の各+7.99%、+7.49%から伸びが加速しました。メキシコ銀行は声明文で、前回会合（6月23日）時点に比べて当面のCPI予想を上方修正しましたが、今年の7-9月期が前年比のピークになるとの見方は変わらず、インフレ目標レンジの上限（4%）を下回ると予想する時期も2023年7-9月期で据え置きました。これまでの積極的な利上げと時間の経過でインフレピークアウトが近づく中、今後の方針については「次回会合では、実勢に基づいて利上げ幅の大きさを評価する」と、前回の「状況に応じて（今回と）同じく強力な措置を講じるか判断する」からトーンダウンしており、利上げ幅縮小の可能性を示唆する格好となりました。

足元の金融市場では、メキシコ・ペソが米ドルに対して安定的に推移していることに加え、将来的な利下げ転換を織り込み中長期ゾーン中心に国債利回りが低下し、国債指数は上昇に転じています。金利水準は過去と比較して高く、また利上げ余地も小さくなっているため、メキシコ国債への投資妙味は高まっていると言えます。

メキシコの政策金利とCPI



メキシコ国債指数とメキシコ・ペソ



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。